



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月6日

上場会社名 株式会社ファルコSDホールディングス 上場取引所 東・大
 コード番号 4671 URL <http://www.falco-sd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平崎 健治郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役戦略業務室長 (氏名) 安田 忠史 TEL 075-257-8585
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	15,841	1.9	614	11.3	677	22.8	437	66.7
25年3月期第1四半期	15,546	0.6	552	△8.7	551	△11.8	262	△4.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 489百万円 (289.7%) 25年3月期第1四半期 125百万円 (△46.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	35.82	—
25年3月期第1四半期	21.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	37,294	14,685	39.4
25年3月期	37,300	14,342	38.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 14,685百万円 25年3月期 14,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	13.00	—	12.00	25.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成25年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当11円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,100	△1.0	2,100	△1.3	2,100	△4.0	1,200	△7.0	98.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	12,280,177株	25年3月期	12,280,177株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	57,924株	25年3月期	57,794株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	12,222,295株	25年3月期1Q	12,324,594株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却と経済再生に向けた金融緩和政策の実施や政府による経済政策への期待感を背景に円安・株高が進行し、景気回復の兆しが見られるものの、欧州の金融不安や中国の経済成長の鈍化を背景とした海外経済の減速や円安による物価上昇等が懸念されており、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループを取り巻く受託臨床検査市場及び調剤薬局市場は、隔年毎に実施される診療報酬及び調剤報酬の改定や薬価改定の影響に加え、同業社間の競争が激化しており、厳しい市場環境が続いております。また、ドラッグストア市場は、個人消費は回復基調にあるものの、消費者の低価格志向や節約志向は根強く、同業社間の出店競争や価格競争も依然として厳しい状況となっております。

当社グループでは、このような経営環境のもと、グループ内の事業再編を進め、コスト構造の見直しを図るとともに、各事業において収益力の向上に取り組んでおります。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は15,841百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は614百万円（同11.3%増）、経常利益は677百万円（同22.8%増）、四半期純利益は437百万円（同66.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業につきましては、検査項目の拡販及び新規顧客の獲得に努めるとともに、ヒト遺伝子検査の受託数の拡大を図り、収益力の向上に取り組んでおります。

このような取り組みの結果、臨床検査の受託検体数は増加したものの、その他周辺事業の売上の減少や固定費の増加等により、臨床検査事業の売上高は7,591百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は345百万円（同28.6%減）となりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業につきましては、計画的に新規出店を行うとともに、セルフメデュケーションを推進し、個別化医療時代に対応したサービスに取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間において、3店舗を開局したことにより、当四半期連結会計期間末における当社グループが運営する調剤薬局等店舗総数は119店舗（フランチャイズ店6店舗、ドラッグストア併設店13店舗含む）となりました。

このような取り組みの結果、新店の処方箋枚数の増加等により、調剤薬局事業の売上高は4,615百万円（前年同期比7.2%増）となりました。また、営業利益は薬価改定の影響があった前年同期より増加し、276百万円（同134.3%増）となりました。

③ ドラッグ事業

ドラッグ事業につきましては、顧客ニーズに対応した商品構成・売場の見直しを行うとともに、物流及び店舗運営の効率化を図り、収益力及び競争力の向上に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間において、1店舗を開店、1店舗を閉店したことにより、当四半期連結会計期間末における当社グループが運営するドラッグストア店舗総数は64店舗（うち、調剤薬局併設店13店舗）となりました。

このような取り組みの結果、客単価の向上や販売管理費の削減等により、ドラッグ事業の売上高は3,636百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は4百万円（前年同期は25百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、売上債権等が増加したものの、一方で現金及び預金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、37,294百万円となりました。

負債は、主に賞与引当金や借入金の減少により、前連結会計年度末に比べ348百万円減少し、22,609百万円となりました。

また、純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ342百万円増加し、14,685百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ386百万円減少し、7,790百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は192百万円(前年同四半期は640百万円)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益720百万円、減価償却費351百万円、賞与引当金の減少額430百万円、売上債権の増加額291百万円及び法人税等の支払額306百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は179百万円(前年同四半期は341百万円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出255百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は398百万円(前年同四半期は864百万円)であります。これは主に、短期借入金の純増額300百万円及び長期借入金の返済による支出474百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,211	7,833
受取手形及び売掛金	4,829	5,016
商品及び製品	2,821	3,166
仕掛品	201	92
原材料及び貯蔵品	797	513
その他	1,850	2,012
貸倒引当金	△85	△57
流動資産合計	18,627	18,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,210	11,383
減価償却累計額	△6,094	△6,181
建物及び構築物(純額)	5,116	5,202
土地	4,645	4,645
リース資産	2,692	2,320
減価償却累計額	△1,702	△1,326
リース資産(純額)	989	993
建設仮勘定	53	50
その他	8,239	8,293
減価償却累計額	△7,217	△7,276
その他(純額)	1,021	1,016
有形固定資産合計	11,827	11,908
無形固定資産		
のれん	937	897
その他	615	653
無形固定資産合計	1,553	1,551
投資その他の資産		
その他	5,346	5,311
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	5,291	5,256
固定資産合計	18,673	18,717
資産合計	37,300	37,294

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,626	7,716
短期借入金	2,600	2,900
未払法人税等	303	267
引当金	760	334
その他	5,168	5,526
流動負債合計	16,459	16,744
固定負債		
長期借入金	2,985	2,343
退職給付引当金	1,658	1,677
役員退職慰労引当金	784	757
資産除去債務	222	224
その他	847	860
固定負債合計	6,497	5,864
負債合計	22,957	22,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,439	3,439
利益剰余金	7,294	7,585
自己株式	△49	△49
株主資本合計	14,056	14,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286	337
その他の包括利益累計額合計	286	337
純資産合計	14,342	14,685
負債純資産合計	37,300	37,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	15,546	15,841
売上原価	11,247	11,473
売上総利益	4,298	4,367
販売費及び一般管理費	3,746	3,753
営業利益	552	614
営業外収益		
受取配当金	27	30
貸倒引当金戻入額	2	28
その他	21	45
営業外収益合計	50	104
営業外費用		
支払利息	31	27
その他	20	13
営業外費用合計	51	41
経常利益	551	677
特別利益		
投資有価証券売却益	—	45
営業権譲渡益	10	—
特別利益合計	10	45
特別損失		
固定資産除却損	3	2
投資有価証券評価損	6	—
その他	—	0
特別損失合計	10	2
税金等調整前四半期純利益	551	720
法人税、住民税及び事業税	294	261
法人税等調整額	△5	21
法人税等合計	289	282
少数株主損益調整前四半期純利益	262	437
四半期純利益	262	437

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	262	437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△137	51
その他の包括利益合計	△137	51
四半期包括利益	125	489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125	489
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	551	720
減価償却費	391	351
のれん償却額	39	39
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△28
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	△323	△430
受取利息及び受取配当金	△29	△31
支払利息	31	27
投資有価証券評価損益(△は益)	6	—
売上債権の増減額(△は増加)	△430	△291
たな卸資産の増減額(△は増加)	△280	49
仕入債務の増減額(△は減少)	1,045	32
その他	217	62
小計	1,242	495
利息及び配当金の受取額	28	30
利息の支払額	△21	△27
法人税等の支払額	△608	△306
営業活動によるキャッシュ・フロー	640	192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	10
有形固定資産の取得による支出	△104	△255
無形固定資産の取得による支出	△28	△84
投資有価証券の取得による支出	△210	△103
投資有価証券の売却による収入	—	193
保険積立金の解約による収入	—	38
その他	2	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△341	△179
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	300
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△993	△474
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△108	△95
配当金の支払額	△120	△128
自己株式の取得による支出	△143	△0
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△864	△398
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△565	△386
現金及び現金同等物の期首残高	5,416	8,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,850	7,790

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ドラッグ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,655	4,302	3,587	15,546	—	15,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	1	—	1	△1	—
計	7,655	4,304	3,587	15,548	△1	15,546
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	484	117	△25	577	△25	552

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△25百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△347百万円及び内部取引の消去に伴う調整額321百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ドラッグ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,589	4,615	3,636	15,841	—	15,841
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	0	0	2	△2	—
計	7,591	4,615	3,636	15,843	△2	15,841
セグメント利益	345	276	4	627	△12	614

(注) 1. セグメント利益の調整額△12百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△330百万円及び内部取引の消去に伴う調整額317百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。